



BUJYO コミュニティ・スクール通信

燕城小学校学校運営協議会通信 第2号/令和7年9月発行

第2回学校運営協議会が、9月10日（水）に開催されました。会議次第は以下のとおりです。

- 1 開会のあいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 前期学校評価と授業参観の所感
 - (2) コーディネータ活動報告
 - (3) 学校運営協議会の活動状況
 - (4) その他
 - ・「愛校作業にいっしょに参加してみませんか」
- 3 閉会のあいさつ



○前期学校評価

*学校だよりNo.8で、テトル及び学校ホームページに掲載
前期学校評価結果について、齊田研究主任、福嶋生徒指導
主任、坂井主幹教諭、小山教頭から説明がありました。

評価項目の問い合わせ文言を変更した。

例：家庭学習 ご家庭で、進んで学習に→お子さんは、
評価の対象を明確にしたとのことです。これにより評価
が大きく低下した。A+Bで58%（前年同期73%）これは、「お子さんは」に変更したため保護者が、自身の主觀ではなく子の様子に基づいて回答したことが一因と考えられる。しかし、家庭学習に課題があることに変わりはなく強化
週間だけではなく、日常的に個別に声掛けをしながら保護者と連携していく必要がある。

挨拶については、評価者の児童(52%)、保護者(34%)、
教師(62%)ともA評価が低下している。特に保護者の評価
が低下。これは、家庭や学校の登下校での挨拶が足りないと
感じていると思われる。2学期よりこれまで以上に先生が
率先垂範する「すれちがいのあいさつチェック」を全校で取
り組んでいる。挨拶する児童の姿が増えているとのこと。
*見守り活動の中では、どの子も挨拶ができるとまでは言
えない。多くの子が元気に挨拶できるようになると良い。
*交通安全協会として、交差点での活動を行った。日を追う
ごとに挨拶を返してくれる子が増えたと感じた。
*家庭での職として、親がもっと関わっていくことが必要
でないか。

*学校評価項目について、前期と後期、前年度と本年度と学
校内での比較はできているが、白山市との他校との比較はで
きないのでしょうか。

共通評価項目があり、1の「授業」、5「集団生活」、
6の「集団生活」です。

○授業参観の所感

*子どもは、大変落ち着いて学習していた。
*先生と良い関係が築かれていると感じた。
*学習を進めるうえでガイドとなる掲示が見られた。
*タブレットを使っての授業が、当たり前となっている。
*聞く力は、小さいころから鍛えないと身につかないと考
えている。このことを大切にした授業をお願いします。

○学校運営協議会の地域連携の取り組み

9月21日（日）のPTA「親子愛校作業」に地域の方
の参加を呼び掛けている。

○資源回収

*PTAで行っていた資源回収が、現在行われていない。
PTAの事情があると思う。私の町会で肩代わりしてもよい
という話がある。地域に頼むことを今後検討してみてはど
うか。

